

2025-2026 関根信行年度 第15回

通算 2893 例会

令和7年11月20日(木)
11月第3例会

本日の例会

例会場 料亭ふな又
点鐘 18:00
テーマ 青少年作文コンクール
主管 職業・青少年奉仕委員会

・ロータリーソング

奉仕の理想

・四つのテスト・ロータリーの目的

中村 正SAA

・本日のお客様

岩槻区長

小柳昌彦 様

岩槻区中学校長会長

金子宜史 様

市PTA協議会岩槻区連合会長

能重裕介 様

受賞者・保護者皆様

次回例会案内

令和7年12月4日(木)

例会場 料亭ふな又

2025-2026 年度 岩槻ロータリークラブ

会長 関根信行
幹事 小林 篤
会場出席・公共イメージ委員長 星 和彦
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点 鐘 第1・第2 12:30
第3 18:00

クラブ事務所

さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



会長の時間

第63代会長 関根信行

皆さま、こんばんは、本日はご出席ありがとうございます。
岩槻ロータリークラブ会長の関根信行です。

本日は三点、共有と御礼、そして受賞者の皆様へのはなむけをお伝えします。

まず一つ目。

11月8日の米山梅吉記念館での移動例会では、多くのご参加とご協力をありがとうございました。

ロータリーの原点に触れ、「奉仕の理想」を自分事として捉え直す大切な機会になりました。学びを日々の実践へつなげてまいりましょう。

二つ目。

11月15・16日の第2770地区大会にご参加くださった皆さま、運営・調整に尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

基調講演で植松努さんが語られた「思うは招く」。

思い切って“思う”ことが、仲間と機会を呼び込み、未来を引き寄せる一力強いメッセージでした。下町ロケットのモデルとも言われる現場の情熱と挑戦は、私たちのクラブ運営や地域奉仕にも通じます。小さく始め、共に大きく育てていきましょう。

最後に、本日の青少年作文コンクール「岩槻区の未来像」受賞者の皆さん、おめでとうございます。

皆さんの視点は、岩槻の歴史と文化に光を当て、未来への希望を具体的な言葉にしてくださいました。どうか、その感性を行動に変え続けてください。思いは必ず仲間を招き、力を生みます。

岩槻では、地元出身のバンドNoGoDの団長さんと、人形作家の大豆生田有紀（おおまめうだ ゆき）さんが協働し、伝統とカルチャーをつなぐプロジェクトが進行中です。異分野のコラボが新しい価値を生み、地域の未来を切り拓く好例です。私たちも世代や分野を越えて手を取り合い、岩槻の魅力を次代へつないでいきましょう。

Unite for good よいことのために手を取り合いましょう。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。



お客様紹介



さいたま市岩槻区
区長 小柳昌彦 様



岩槻中学校長会
会長 金子宜史 様



さいたま市PTA協議会
岩槻区連合会
会長 能重裕介 様

幹事報告

幹事 小林 篤

- ・国際ロータリー第 2770 地区より、11 月 15 日に開催されました会長会議の資料が届きました。(2024-25 年度収支報告書など)
- ・11 月のロータリーレートは 1 ドル 154 円です。
- ・さいたま市花火大会実行委員会より協賛に対する御礼状が届いております。
- ・R I 日本事務局財団室 NEWS 11 月号の案内
- ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライト米山 11 月号」が届きました。
- ・大宮西 RC、大宮東 RC、岩槻東 RC、大宮北東 RC より 11 月の例会予定表、大宮西 RC、大宮東 RC、岩槻東 RC より 10 月の週報が届きました。



青少年作文コンクール表彰式

職業・青少年奉仕委員長 村上 泉

皆さま、こんばんは。
岩槻ロータリークラブによる青少年作文コンクールは、昨年に続き、今年で 2 回目の開催となります。本年度のテーマは「岩槻の未来像」です。

岩槻の誇りや未来への希望を題材に、区内の中学生が自らの思いを自分の言葉で表現し、岩槻について深く考え、魅力や可能性を再発見する機会を提供する事を目的としております。

今年は、274 作品もの応募をいただきました。その中から、岩槻高校国語科の先生方のご協力を得て審査を行い、最優秀賞 4 作品、優秀賞 16 作品を選出いたしました。さらに、本日ご臨席いただいております岩槻区長 小柳昌彦様、岩槻中学校校長会会長 金子宜史様、さいたま市 PTA 協議会岩槻区連合会会長 能重裕介様に特別賞をご決定いただきました。

このコンクールを通じて、子どもたちが豊かな感性を育み、未来に向けて自信を持って歩んでいけることを願っております。



岩槻区長賞

柏陽中学校 有山 奈名美 さん

「この度はこのような賞をいただき、とても嬉しいです。私はこの作文を書く際に、どうやったら私の好きな岩槻についての思いを伝えられるかと考え、一生懸命やってきました。この作文を選んでもいただき、本当にありがとうございます。」



私の好きな岩槻区

私は、地域との交流がたくさんある緑が豊かな岩槻区がとても好きです。そんな私が思い描く岩槻区の未来像は、「緑

が豊かで、人の交流が豊富な町」です。私は、この先も岩槻区にたくさんの緑が広がってほしいです。岩槻区の花のやまぶきや公園に広がるコスモス、桜、睡蓮など、岩槻には素晴らしい自然が広がっています。

この先、近代化な社会に近づくのだとしても、今ある素晴らしい自然をたくさん残してほしいと願っています。そして、自然の他にも人々の交流が豊富な街であってほしいと思っています。今、岩槻区には、岩槻まつりやものづくり体験、子どもが安心して遊べる公園など、人々が交流できる機会がたくさんあります。そんな人々の交流をもっと増やし、岩槻区がもっとあたたかく安心できる町になることを願っています。私は、地域との交流がたくさんある、緑豊かな岩槻区がとても好きです。そんな岩槻区の良いところをもっと発信していきたいです。

以上です。ありがとうございました。

小柳昌彦区長コメント

ただいま、読み上げていただきました柏陽中学校有山さんの作品につきましては、緑豊かな公園や、田園風景に囲まれた岩槻の魅力を活かし、にぎわいと人々の交流が生まれるまちづくりを担う純粋な気持ちが感じられる作品であり、これから岩槻が地下鉄 7 号線延伸事業など、重要な施策が進められる中で、大切にしたい施策となります。そういったことから私が選ばせていただきました。そして、この後読み上げていただきます、栄えある入賞者の皆さんにおかれましても、郷土愛を育み、わがまち「岩槻」の未来を担う素晴らしい作品を描いてくださったこと、岩槻区長として大変誇らしく、また心より喜ばしく思います。ありがとうございました。また、そのように郷土の歴史や魅力を学ぶ機会を与え、礎を支えてくれました先生方や保護者の皆様にも合わせて感謝申し上げます。岩槻区は今年で区制 20 周年になります。これから区制誕生 20 年、30 年、40 年と迎えた時、皆様がまちづくりの主役となって、さらに良い街にしていいただければと期待する次第でございます。

本日、入賞者の皆様、並びにご臨席の皆様の益々の今後のご活躍を祈念いたしまして、私からの感想とご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

岩槻区校長会賞

岩槻中学校 坂巻 太一 さん

次世代につなぐ

僕は岩槻区で生まれ育ち 13 年。時の鐘の音が聞こえ一日が始まる、生粋の岩槻っ子だ。幼少期から岩槻区の自然と歴史、文化を身近に感じてきた。僕が好きな岩槻の魅力は、他の

地域にはない四季を感じる歴史にふさわしい行事が数多くあることだ。春の人形の「まちならではのまちかど雛めぐり」に始まり、僕もちびっ子孫悟空になった慈音寺の「玄奘祭」。夏の「岩槻まつり」や秋の「鷹狩り行列」...どれも古き良きものを大切に守り続けてきた、岩槻らしい行事だ。これらをきっかけに多くの人に岩槻を知ってもらいたい。しかし、岩槻区にも課題がある。市内の中でも特に少子高齢化率が高い。守るべきものを次世代に伝えていくためには対策が必要だ。岩槻に在住の人も、初めて訪れる人も、「岩槻の魅力」を共に共感できるまちづくりを目指すことが大切だ。その為には、僕たち若者が積極的に行事に参加して、地域の方々と協力し、岩槻を PR する発信力を強化していきたい。



この度は、このような賞をいただきありがとうございます。
した。

僕はサッカーのクラブチームに所属していて、浦和や大宮やいろいろな地域から選手が来ているのですが、そのような身近な人々に岩槻区の魅力を伝えていければと思っています。ありがとうございました。

金子宜史校長会長コメント

坂巻さん、本当におめでとうございます。立派な作文を拝読いたしました。

私が最も感心した点、そして中学校長会長としてこの賞を選ばせていただいた最大の理由は、作文の中に「これからこうしていきたい」という具体的な取り組みがしっかりと書かれていたことです。若者が自ら岩槻をPRしていく、そのために何をしていくのかという考えが、とてもストレートに伝わってきました。その熱い思いが、文章を通じて強く感じられる素晴らしい作品でした。また、作文の文字も非常に丁寧で美しく、心を込めて書かれたことがよく伝わってまいりました。改めて、受賞おめでとうございます。良い作文でした。

さいたま市PTA協議会岩槻区連合会会長賞 柏陽中学校 並木 咲弥 さん

岩槻の未来

岩槻は、歴史的に城下町、宿泊町として栄え。特に人形のまちとして知られています。室町時代に太田道灌によって築城された岩槻城を中心に発展し、江戸時代には日光御成街道の宿場町として賑わいました。現在では、岩槻城址公園や遷喬館、岩槻人形博物館など歴史を感じさせるスポットがたくさんあります。このように岩槻は城下町や宿場町の面影を残す街並みは、散歩するだけでも楽しむことができる魅力的な場所です。また、豊かな自然環境や、公園、水辺など、子育て世代にも嬉しい要素が豊富です。ですが今、岩槻の人形の課題があります。それは後継者不足、需要の減少、そして産業の衰退です。伝統的な技術を持つ職人の高齢化と若年層の興味関心の低下が深刻な問題となっています。人形の大切な歴史をなくさないように、人形制作体験などのワークショップなどを開催し、岩槻人形の魅力を発信すると、岩槻の人形文化を未来につなぐ事ができると思いました。

能重裕介さいたま市PTA協議会岩槻区連合会 コメント

本日並木さんは都合により出席できないということで、感想のみ述べてさせていただきます。

作品を拝読してまず驚いたのは、子どもたちの作文から「産業」という言葉が出てきたことです。

これは、岩槻が抱える課題を子どもたち自身がしっかりと捉えている証であり、その視点の鋭さに大変感心いたしました。

今後、ワークショップなどを通じて、子どもたちと共に地域の産業を前へ進めていくことは、私たち大人の責任でもあると改めて認識いたしました。

作品は非常にバランスが良く、文章も丁寧で、思いがしっかりと伝わる素晴らしい内容でしたので、今回選ばせていただきました。

本日は誠にありがとうございます。

岩槻ロータリークラブ会長賞 柏陽中学校 覺張 暁子 さん

私の暮らす岩槻区は、雛人形や五月人形などの人形づくりが盛んな区です。江戸時代後期と古くから伝わり、今も昔のままの人形づくりが受け継がれています。機械化が進む中、多くの職人たちは手作業による製造をしています。私の望む岩槻区の未来は、このような素晴らしい文化がなくなることなく、次世代へ伝わることです。2020年に岩槻人形博物館が開館され、人形文化への親しみや理解を深める場ができました。毎年開催される岩槻まつりでは、みこしやパレードで人形文化を感じられます。人形文化への関心を持ち、イベントなどにたくさんの人が参加をすることで、次世代へと受け継ぐことができると思います。

そして、より身近なところの人形文化に気づき、周囲の人へ発信をし、岩槻の人だけでなく、さまざまな人にも岩槻の人形文化の魅力を伝えていきたいです。普段の生活と岩槻の人形文化の魅力が融合し、次世代へと受け継げる岩槻区になってほしいです。

そして、より身近なところの人形文化に気づき、周囲の人へ発信をし、岩槻の人だけでなく、さまざまな人にも岩槻の人形文化の魅力を伝えていきたいです。普段の生活と岩槻の人形文化の魅力が融合し、次世代へと受け継げる岩槻区になってほしいです。

関根信行会長コメント

覺張さん、受賞本当におめでとうございます。

実は私の祖父は人形の顔を作る仕事をしており、すでに亡くなっておりますが、その後、母も人形店に勤め、人形の在庫を作る仕事に携わってまいりました。母も高齢となりましたが、私は人形に囲まれ、人形を作る人々に育てられてきたことを誇りに思っております。今ここに立っているのも、その背景があつてのことだと確信しております。

今回、私が特に嬉しく感じたのは、若い世代の皆さんが人形の魅力を改めて発信しようとしていることです。私たち大人が気づかない部分を、子どもたちが新しい視点で示してくれることは、未来につながる大きな力になると強く感じました。

本日の作品は本当に素晴らしく、心から感動いたしました。改めて、受賞おめでとうございます。

奉仕・支援部門委員長 内藤 明

本日受賞された4名の皆さん、誠にありがとうございます。ぜひ学校に戻られた際には、この成果を胸を張って自慢していただきたいと思います。また、小柳区長、加藤校長先生、農事課長におかれましては、大変お忙しい中ご臨席いただき、さらにご講演まで賜り、心より感謝申し上げます。

今回の青少年作文コンクールには、274作品もの応募がありました。第1回目に比べてほぼ倍近い数であり、地域の関心の高まりを実感しております。審査の結果、最優秀賞4作品、優秀賞16作品を選出いたしました。昨年度は「岩槻の歴史と文化」をテーマとしましたが、今年度は「岩槻の将来像」と題し、中学生の皆さんに未来を描いていただきました。



作品を拝読する中で、若い世代が真剣に地域の課題や可能性を考えていることに深く感心し、私たち大人も多くの気づきを得ることができました。表現力も豊かで、まちづくりに携わる私たちにとって参考になる点が数多くありました。

今回の応募作品を通じて、中学生の皆さんが岩槻の街をしっかりと見つめ、未来をどう築いていくかを考えていることが伝わってきました。むしろ私たち大人が、子どもたちの新鮮な視点や知恵を学び、共に地域を前進させていく必要があると強く感じました。

本コンクールは2回目となりますが、今後の開催に向けて改善すべき点もございます。ロータリークラブの年度が7月始まりであるため、夏休み期間に合わせて募集を行いましたが、準備にやや慌ただしさがありました。次年度以降は早めに計画を進め、学校や地域の皆さまにご協力をお願いできるよう努めてまいります。

また、テーマ設定についても、岩槻の地域性を踏まえつつ、より広がりのある題材を検討することが課題だと考えております。

最後に、今回の事業は皆さまのご協力なくしては成り立ちませんでした。改めて深く感謝申し上げます。

これからも子どもたちの未来を育む活動を続けてまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。以上をもちまして、総評ならびに閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



米山記念奨学生

シュク・ウンゴ君

本日、シュク・ウンゴ君に関根会長から11月分の米山奨学金を授与しました。

【近況報告】

私は中国出身の留学生で、現在、日本工業大学の4年生です。今日は一言ご報告です。

先月、私の研究室の取り組みが評価され、賞をいただくことができました。今後は展示も予定しており、プロジェクションマッピングの技術を用いて動画を投影する企画にも参加いたします。今月からもいっぱい頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



11月の誕生祝い

プログラム・親睦委員長

三浦宣之

11月生まれの会員の方は、

11日 眞々田悟会員

16日 原田晃博会員

23日 星 和彦会員

以上3名の方です。

おめでとうございます！



スマイルBOX

遠藤隆雄 作文コンクール入賞おめでとうございます。

小林 篤 本日、作文コンクールです。受賞者のみなさんおめでとうございます。本日よりよろしくお願いいたします。

小林利郎 青少年作文コンクール入賞おめでとうございます。

駒澤あい 本日もどうぞよろしくお願い致します。

鈴木真樹 作文コンクール発表楽しみにしております。本日も宜しくお願いします。

関根信行 本日はよろしくお願い致します。

田畑寛樹 親愛なる皆様、こんばんは。原田会員、眞々田会員、星会員、誕生日誠におめでとうございます。内藤部門委員長、村上委員長、作文コンクールよろしくお願い申し上げます。たくさんのお客様、受賞者の皆様、ようこそ岩槻RCへ。本日も何卒宜しくお願い申し上げます。

富田友輔 本日も宜しくお願いいたします。

内藤 明 作文コンクール受賞おめでとうございます。

中村 正 小柳区長、金子校長をはじめとするお客様ようこそ！

能重裕介 本日もよろしくお願いいたします。

原田晃博 本日も宜しくお願いいたします。

星 和彦 青少年作文コンクールに入賞された皆様おめでとうございます。

松永 豪 本日もよろしくお願い致します。

三浦宣之 本日は宜しくお願いします。

村上 泉 作文コンクール授賞式おめでとうございます。

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	16		6	84.62%

スマイル報告

本日のスマイル合計	23,000 円
年間累計額	380,000 円